

(報告書様式)

令和〇〇年 〇月〇〇日

常滑市農業委員会長 様

所在地 常滑市〇〇町〇丁目〇番地
団体名 株式会社 〇〇
代表者 代表取締役 〇〇 〇〇
〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

農地等の利用状況報告書

(事業年度：令和〇〇年 〇月〇〇日 ～ 令和〇〇年 〇月〇〇日)

〔 農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けて使用貸借による権利又は賃借権の
~~農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第7項の規定による公告があった農用地利用集~~

設定を受けた
~~積等促進計画の定めるところにより賃借権又は使用貸借による権利の設定又は移転を受けた~~ 〕

農地（採草放牧地）について、農地法第6条の2第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 〔 農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けた者
~~農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第5項第3号に規定する者~~ 〕 の氏名等

氏名	住所
株式会社 △△△△ 代表取締役 □□□□	常滑市〇〇町〇丁目〇番地

2 報告にかかる土地の所在等

土地の所在	地目		面積 (㎡)	作物の種類別作付 面積 (㎡)	収穫高 (kg)	10a 当たり 収穫高 (kg)	備考 (※1)
	登記簿	現況					
〇〇町〇〇番地	田	田	△△	水稻 △△	△△	△△	

3 { 農地法第3条第3項の規定により同条第1項の許可を受けて使用貸借による権利または賃借権
~~農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第7項の規定による公告があった農用地利用集~~

の設定を受けた
~~積等促進計画の定めるところにより賃借権又は使用貸借による権利の設定又は移転を受けた~~ }

農地又は採草放牧地の周囲の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響
ほぼ毎月1回草刈をしている。
農薬の散布の前には周辺農家と話をしている。

4 地域の農業における他の農業者との役割分担の状況

- ・ 農業の維持発展に関する話し合い活動への参加 話し合い日 令和△年△月△日
- ・ 道路、水路、ため池の清掃 清掃日 令和△年△月△日
- ・ 防護柵の点検、草刈り 活動日 令和△年△月△日

5 業務執行役員又は重要な使用人の状況

氏名	常時従事者の役職名	耕作又は養畜の事業の年間従事日数
〇〇 〇〇	取締役	200 日

6 その他参考となるべき事項

(記載要領)

- 1 不要の文字は抹消してください。
- 2 報告書を提出するものが法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄付行為の写しを添付してください。
- 3 記の2の「報告に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 4 記の3の「農地法第3条第3項の規定の適用を受けて同条第1項の許可を受けた農地又は採草放牧地の周囲の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼしている影響」には、例えば、病虫害の温床となっている雑草の刈取りをせず、周囲の作物に著しい被害を与えていないか等を記載してください。
- 5 記の4の「地域の農業における他の農業者との役割分担の状況」には、例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、道路、水路、ため池等の共同利用施設の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等の取り組み状況（今後取り組む場合はその見込み）について記載してください。
- 6 記の5の「業務執行役員または重要な使用人の状況」については、報告書を提出する者が個人である場合は記載不要です。「耕作又は楊地区の事業の年間従事日数」欄には、当該事業年度において法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員（耕作又は養畜の事業に常時従事した業務執行役員がいない場合には、重要な使用人）の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。

なお、「重要な使用人」とは、その法人の使用人であって、当該法人の行う耕作又は養畜の事業に関する権限及び責任を有する者をいいます。